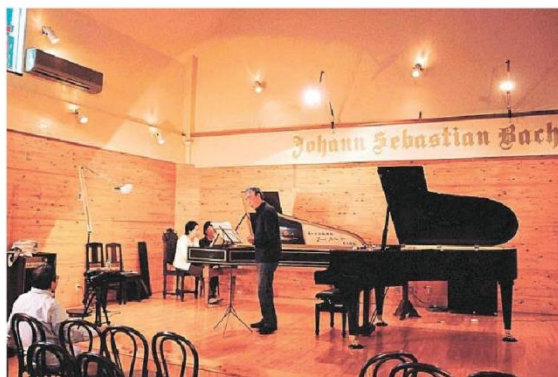


バッハ生誕 世界で祝う

2020年3月10日朝刊

※解答欄が足りない場合は、ワークシート裏面に書くこと

①バッハのバロック音楽に対する影響を考察せよ。



22日、身近で親しむ機会

NY発演奏会、静岡でも

音楽の父バッハ（1685～1750年）の曲を誕生日の21日前後に演奏するプロジェクト「バッハ・イン・ザ・サブウェイ」が、世界的な広がりを見せている。11回目となる今年は、世界100超の会場と共に静岡地区も初参加。静岡市葵区のホール「静岡バッハハウス」に22日、6人の奏者が集う。

プロジェクトは2010年、米ニューヨークの地下鉄駅でチェロ奏者アル・ヘンダーソンさんがバッハの「無伴奏チェロ組曲」を演奏したことがきっかけ。日頃クラシック音楽とは縁遠い人たちに鑑賞の機会を提供する試みは反響を呼んだ。

翌年以降は共感した演奏者によって公演数が増加。15年からは日

本でも広場や身近なホールで行われ、昨年は40カ国140以上の都市で展開された。「音楽への愛と敬意を街ゆく人々と共有する」との趣旨から、出演や鑑賞は無料が条件だ。

主催団体の日本世話人によると、今年も3月上旬までに米国や欧州などで100超の公演が決定。新型コロナウイルスの感染拡大を受け、演奏会は無観客や動画配信向けのケースも想定しているという。

愛好家が集う静岡バッハハウスでは、チェンバロやオルガンなど古楽器の奏者や音楽家

が練習を重ねている。バッハハウスのサポーターで県クラシックギター愛好会主宰の杉山文朗さん（62）は「同市駿河区は、一街中や生活空間で多くの人が音楽の魅力に気付く機会になる」と話す。

演奏は午後1時半から4時ごろまで。「マタイ受難曲」「トッカータとフーガ」などを予定。鑑賞自由。問い合わせは杉山さんへ電話080（4302）3633へ。（文化生活部・宮城徹）

年 組 名前

作問者：NIEアドバイザー 実石 克巳（静岡県立静岡高校 教諭）

（高校／国語）

<参考>①＝音楽学、文化学に関する問題、②＝音楽学、観光学、地域行政学に関する問題、③＝文化学、音楽学、国際関係学に関する問題